

# 温度応力解析

セメント原料である石灰石や粘土、珪石をはじめ鉱物関連の成分分析の技術を活かし、ニーズに応えた分析を提供します。

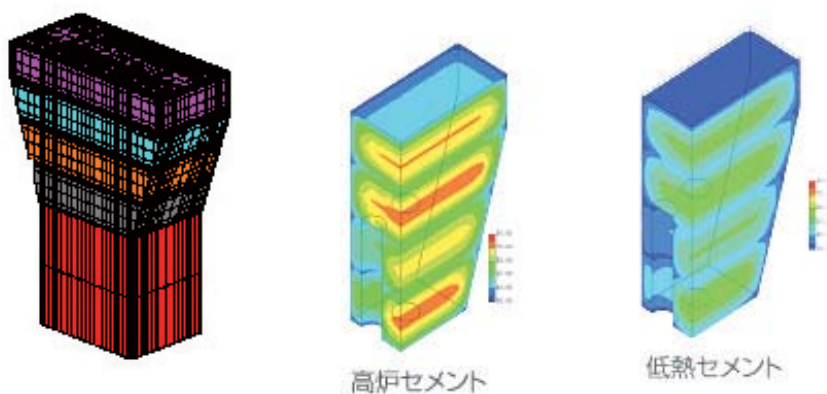
コンサルティング

## 温度応力解析の必要性

構造物の設計体系が性能照査型へ移行し、これにより設計段階でコンクリートのひび割れ性能を照査することが求められてきました。また、入札でもプロポーザル方式が浸透してきており、3次元 FEM による温度応力解析が、技術点を高める重要なポイントとなっています。

マスコンクリートと定義されている、部材厚さ 80cm 以上のスラブや上下端が拘束された 50cm 以上の壁部材等について、温度応力解析を用いたひび割れの事前検討がよく行われます。

温度応力解析



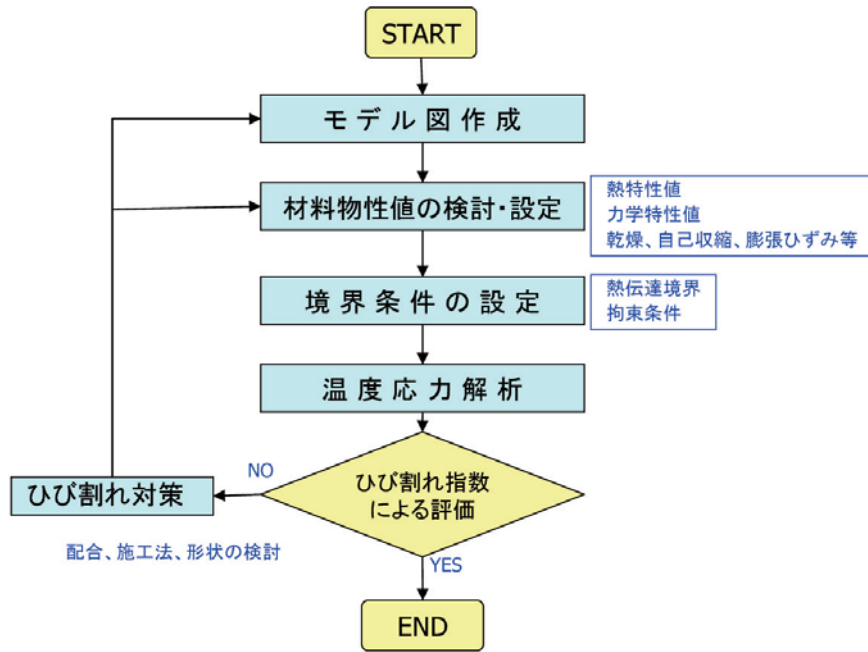
● 温度応力解析結果の一例

お問い合わせ先

 **Taiheiyo Consultant**  
株式会社 太平洋コンサルタント

《西日本営業部》  
〒756-0817 山口県山陽小野田市大字小野田6276  
TEL 0836(83)3358 / FAX 0836(83)7058  
<http://www.taiheiyo-c.co.jp>

### 解析フロー



● 温度応力解析結果の一例

### 対象コンクリート

- ダム
- 擁壁
- ボックスカルバート
- 水利施設
- 高強度コンクリート

### 対策例

- 配合(セメント種類)の変更
- 施工方法(リフト高さ、クーリング)
- 設計(ひび割れ誘発目地間隔、鉄筋比)
- 打設時期, 時間帯